

笠松町と商工会 岐阜信金が協定

中小企業支援

笠松町と町商工会、岐阜信用金庫は18日、包括連携協定を結んだ。中小企業支援や事業承継など事業者間のマッチングに取り組み、持続可能な地域経済の発展

を目指す。

連携して町内の企業を対象に脱炭素、デジタルトランスフォーメーション(DX)関連のセミナーを開いたり、事業者間のマッチング機会を創出したりする。

役場で締結式があり、古田聖人町長は「地域経済発展のため力を合わせたい」、岩村雅人町商工会長は「一事業者では解決が難しい課題に、一丸となって向き合う」と意気込み。同金庫の執行義徳常務理事は「地域発展のお手伝いをできるよう頑張りたい」と話した。

(安井真由子)



協定を結んだ(左から)古田聖人町長、執行義徳岐阜信用金庫常務理事、岩村雅人町商工会長＝笠松町役場